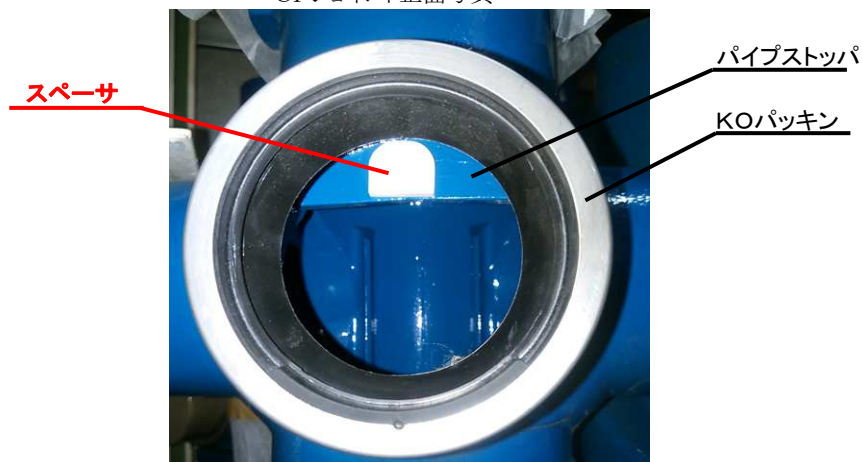


お知らせ COREシリーズ管端スペーサ不要

横枝管が塩ビライニング鋼管や配管用炭素鋼管などが使用されていた時代には、配管が熱伸縮によって管端とパイプストップとの干渉音(金属どうしのさしみ音)を防止するために、横枝管受口内部のパイプストップにポリエチレンフォーム製のスペーサを装着していました。

近年は、硬質塩ビ管または耐火二層管が主流となっており、金属どうしのキシミ音は回避されます。横枝管の挿入寸法58mmとしていただければ、熱伸縮のクリアランス7mmを確保できますので、スペーサは不要となります。

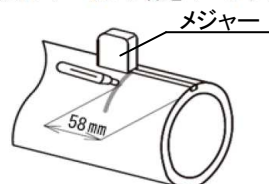
CPジョイント正面写真



●横枝管施工方法

横枝管の挿入寸法は58mmで施工してください。熱伸縮のためのクリアランスは7mm確保できます。

挿入寸法のマーキング線をマークする



横枝管受け口
呼び50, 65, 80, 100
各最大呑込代: **58mm**

●切り替え時期

2017年7月出荷分より 順次切り替えいたします。

●関連資料の修正

カタログ
パンフレット
技術資料

} 次回発刊時に修正いたします。

仕様図
(ホームページ)

2017年7月より順次切り替えいたします。